2022 年 12 月 22 日
日本生命保険相互会社

ニッセイ インターネットアンケート
～「2022 年の振り返りと新年への期待」について～

日本生命保険相互会社（社長：清水博）は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューの一つとして、ホームページ（https://www.nissay.co.jp）内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「2022 年の振り返りと新年への期待」に関するアンケート調査を実施しました。

≪アンケート概要≫
■実施期間：2022 年 12 月 1 日(木)～12 月 11 日(日)
■実施方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
■回答者数：8,611 名(男性：4,445 名、女性：4,070 名、性別回答なし：96 名)

＜年代別回答者数＞

［名］

年代	～20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代～	合計
男性	220	506	821	1,452	993	453	4,445
女性	306	592	746	1,184	822	420	4,070
合計	526	1,098	1,567	2,636	1,815	873	
占率	6.1%	12.8%	18.3%	30.7%	21.1%	10.2%	

《アンケート結果のポイント》

ポイント①
質問 1～3

【2022 年の振り返り】
○「今年は良い年だった」と回答した方は、全体で 39.4%であった。
○「2022 年に点数をつけるとしたら何点か」という質問に対する、回答の**平均点数は 68.0 点**となり、昨年より**全年代で高い数値**となった。

ポイント②
質問 4～9

【新年への期待・新型コロナウイルス感染症について】
○「来年は良い年になりそうか」という質問に、50 代以下では**年代が若いほど、「はい」と回答した割合が高かった。**
○来年の抱負については、全年代で**「健康に過ごすこと」**と回答した方の割合が最も高かった。
○新型コロナウイルス感染症に打ち克つ時期を「2 年以内」と回答した方は昨年と比較し**5.4 ポイント減少**した。
○打ち克つ理由を昨年と比較すると**「ウィズコロナに適応できるから」「各種規制が緩和するから」と回答した方の割合が 2 倍以上**であった。

ポイント③
質問 10～15

【冬のボーナス・年末年始休暇について】
○冬のボーナスの平均額は **69 万円**で、昨年と比べ「減った」と回答した方が「増えた」と回答した方より多かった。
○年末年始休暇の予定は**「自宅・自宅周辺で過ごす」と回答した方が 68.8%**となり最も多く、次いで**「帰省」**となった。
○年末年始休暇の平均予算は**4.9 万円**となり、昨年と比較し**約 0.2 万円増加**した。

【2022 年の振り返り】

質問 1　今年は良い年でしたか？（回答者数：8,201 名）

質問 2　とりわけ、良かったことは何に関わることですか？（回答者数：4,188 名）

質問 3　ご自身の 1 年に点数をつけるとしたら、100 点満点として何点をつけますか？（回答者数：8,055 名）

○「今年は良い年だった」と回答した割合は、全体で 39.4%であった。

○とりわけ良かったことについては、全体では「家族に関すること」と回答した割合が最も高かった。年代別では 20 代以下が「趣味・娯楽に関わること」が最も割合が高く、30 代以下は「ライフイベントに関わること」、70 代以上は「自分自身(健康面など)に関わること」と回答した割合がそれぞれ高かった。

○今年 1 年を評価する点数は、全年代において昨年の点数を上回った。

■今年は良い年だったか　＜年代別＞

(%)

内容	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
はい	39.4	59.4	53.2	40.0	32.4	35.6	38.3
いいえ	14.7	8.0	11.4	15.7	16.7	14.6	15.3
どちらとも言えない	45.9	32.6	35.4	44.4	50.9	49.9	46.4

「はい」と回答した割合は
20 代以下・30 代で 5 割以上

■とりわけ、良かったことは何に関わることか　＜年代別＞

(%)

順位	内容	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1	家族に関わること	29.4	17.6	30.1	27.3	30.5	34.2	29.8
2	趣味・娯楽に関わること	15.9	22.4	12.7	14.0	16.8	16.0	16.3
3	仕事に関わること	14.9	15.9	14.8	19.7	14.7	12.8	9.4
4	自分自身のこと（健康面など）	13.1	10.8	7.3	11.2	13.3	14.5	24.9
5	ライフイベントに関わること	11.2	21.0	22.5	10.0	8.3	7.1	3.1
6	収入・金銭面に関わること	4.3	4.0	5.5	5.4	4.3	3.3	2.8

年代別にみると、
20 代以下は「趣味・娯楽」、
30 代以下は「ライフイベント」、
70 代以上では「自分自身(健康面など)」と回答した割合が高かった

■ご自身の 1 年に点数をつけるとしたら何点か　＜年代別・都道府県別＞

(%)

内容	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
100点	5.4	10.4	8.6	5.3	3.7	3.9	6.7
80～99点	25.1	26.4	28.6	25.0	23.0	25.5	25.3
60～79点	39.9	42.1	38.2	37.3	39.3	42.1	43.3
40～59点	21.0	16.5	14.9	22.1	23.8	22.2	17.6
20～39点	5.4	2.2	6.8	6.4	6.1	3.5	5.5
0～19点	3.3	2.4	2.9	3.9	4.2	2.8	1.6
平均点（今年度）	68.0	73.0	71.0	67.0	66.0	69.0	70.0
平均点（昨年度）	66.3	70.1	68.7	65.2	64.7	66.5	68.0

全年代で昨年よりも
平均点数が増加

〈上位5位〉　(%)

順位	都道府県	点数
1	宮城県	76.0
2	沖縄県	74.1
3	高知県	72.5
4	徳島県	71.8
5	愛媛県	71.8

点数が高い都道府県は、
1 位が宮城県
2 位が沖縄県

〈下位5位〉　(%)

順位	都道府県	点数
1	岐阜県	60.9
2	鳥取県	62.2
3	岩手県	62.6
4	佐賀県	63.4
5	長崎県	63.5

【新年への期待について】

質問 4　　来年はあなたにとって良い年になりそうですか？（回答者数：8,083 名）
質問 5　　来年の最大の抱負は何ですか？（回答者数：8,143 名）
質問 6　　来年の最大の関心事は何ですか？　（回答者数：5,651 名）

○「来年は良い年になりそうか」という質問に、50 代以下では年代が若いほど、「はい」と回答した割合が高かった。
○来年の抱負については、全年代で「健康に過ごすこと」と回答した方の割合が最も高かった。
○来年の最大の関心事について、「新型コロナウイルス感染症関連（特効薬の開発等）」と回答した方が 71.3%と最も多かった。

■来年はあなたにとって良い年になりそうか＜年代別＞

（%）

内容	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
はい	45.6	59.6	58.9	45.7	40.1	41.9	44.4
いいえ	4.7	3.5	3.5	5.0	6.0	3.7	4.5
どちらとも言えない	49.7	36.9	37.6	49.2	53.9	54.4	51.0

50 代以下では
年代が若いほど
来年への期待が高い

■来年の最大の抱負は何か＜年代別＞

（%）

順位	内容	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1	健康に過ごすこと	56.8	27.2	35.5	49.4	58.1	70.5	83.5
2	趣味の時間を増やすこと	7.0	6.1	6.1	6.2	7.7	8.4	5.2
3	家族・友人との時間を増やすこと	6.1	6.3	11.4	6.9	5.3	4.3	4.0
4	仕事を頑張ること	5.3	13.0	9.2	7.3	4.7	1.9	0.8
5	ダイエットに成功すること	4.7	8.1	7.9	6.1	4.6	2.3	1.7

（昨年）　（%）

順位	内容	全体
1	健康に過ごすこと	59.1
2	趣味の時間を増やすこと	6.4
3	仕事を頑張ること	5.8
4	家族・友人との時間を増やすこと	4.9
5	ダイエットに成功すること	4.7

昨年と比較すると、「健康に過ごすこと」が引き続き 1 位となり
「家族・友人との時間を増やすこと」が「仕事を頑張ること」を上回った

■来年の最大の関心事は何か ＜年代別＞

「新型コロナウイルス感染症関連」への関心が最も高かった

（%）

順位	内容	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1	新型コロナウイルス感染症関連（特効薬の開発等）	71.3	64.1	59.8	67.9	70.1	78.3	83.4
2	WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）の開催	12.9	17.3	15.2	14.7	14.7	9.4	6.8
3	日本銀行総裁の交代	6.9	4.6	8.1	8.2	6.9	6.8	4.7
4	ラグビーワールドカップがフランスで開催	4.1	3.1	4.1	3.2	5.5	3.8	3.2
5	こども家庭庁の発足	3.3	7.1	10.6	4.4	1.3	0.9	1.1

【新型コロナウイルス感染症について】

質問 7　新型コロナウイルス感染症に打ち克つ時期はいつだと思いますか？（回答者数：7,257 名）
質問 8　新型コロナウイルス感染症に打ち克てる理由は何だと思いますか？（回答者数：1,440 名）
質問 9　来年の最大の関心事は何ですか？（回答者数：5,651 名）

○新型コロナウイルス感染症に打ち克つ時期は「1 年以内」または「2 年以内」と回答した割合は 50.7%で、昨年と比較し 5.4 ポイント減少し、「打ち克つことはない」と回答した割合は 5.2 ポイント上昇した。
○打ち克つ理由は、「治療薬の開発・普及が進むから」が昨年に引き続き最も多く、「ウィズコロナ生活に適応できるから」「各種規制が緩和されているから」と回答した割合は昨年と比較して 2 倍以上であった。

■新型コロナウイルス感染症に打ち克つ（克服する）時期

（%）

内容	全体
1年以内	35.3
2年以内	15.4
3年以内	13.6
4年以内	1.0
5年以上先	10.8
打ち克つことはない	20.4
既に打ち克っている	3.4

（昨年）（%）

内容	全体
1年以内	36.5
2年以内	19.6
3年以内	15.6
4年以内	1.3
5年以上先	9.2
打ち克つことはない	15.2
既に打ち克っている	2.6

1 年以内または 2 年以内と回答した割合は 50.7%で、昨年の 56.1%と比較し 5.4 ポイント減少

「打ち克つことはない」と回答した割合は昨年と比較して 5.2 ポイント上昇

■（打ち克てると回答した方への質問）理由は何か

（%）

順位	内容	全体
1	治療薬の開発・普及が進むから	36.1
2	ウィズコロナ生活に適応できるから	25.3
3	ワクチン接種がより進むから	21.0
4	各種規制が緩和されているから	8.3
5	感染者数がさらに減少するから	5.8

（昨年）（%）

順位	内容	全体
1	治療薬の開発・普及が進むから	41.7
2	ワクチン接種がより進むから	31.4
3	ウィズコロナ生活に適応できるから	12.5
4	感染者数がさらに減少するから	9.4
5	各種規制が緩和されているから	1.9

「ウィズコロナ生活に適応できるから」と回答した割合が昨年の 2 倍以上、「各種規制が緩和されているから」と回答した割合が 4 倍以上増加

＜ニッセイ基礎研究所　チーフエコノミスト　矢嶋（やじま）　康次（やすひで）のコメント＞

2022 年を振り返った際の平均点数は、全年代で昨年を上回る結果となりました。依然、新型コロナウイルス感染症は収束していませんが、感染対策を続けながらも少しずつコロナ禍前の生活に戻っている点が前向きに捉えられたのかもしれません。

来年の抱負としては、引き続き「健康」を挙げる人が 56.8%で最多となりました。その中で「家族・友人」を挙げた人が「仕事」を上回ったことが特徴的です。行動制限・移動制限の大幅な緩和を受け、ここ数年の分も家族・友人との時間を重視したいと考える人が増加しているようです。

一方、来年の関心事は新型コロナウイルス関連が 71.3%と引き続き圧倒的な票数となっています。また、新型コロナウイルスに打ち克つ時期についても悲観的な見方をする人が増えています。それでも来年は良い年になりそうかと質問への回答で、はい（45.6%）がいいえ（4.7%）を大きく上回っているのは、「ウィズコロナ生活に適応できるから」「各種規制が緩和されているから」という点がポジティブに捉えられているためと考えられます。

2022 年には多くの国がウィズコロナに舵を切りました。日本も、国民の命と健康を守りつつ、社会経済活動も止めない、という姿勢を示しています。来年も新型コロナウイルスの影響は続きますが、私たちの生活は新たな段階に移行しつつあるようです。

【冬のボーナスについて】

質問 10　　今年の冬のボーナスはいくらですか？（回答者数：7,505 名）

質問 11　　昨年と比べて増えましたか？減りましたか？（回答者数：6,467 名）

○冬のボーナスの平均額は 69 万円と昨年と比較し 7.7 万円増加したが、昨年からボーナスが「減った」と回答した方の割合が「増えた」と回答した方の割合を上回った。

■冬のボーナスはいくらか＜年代別＞

	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
平均額	69.0	40.1	52.3	67.3	88.2	60.0	55.4
平均額（昨年）	61.3	35.8	45.1	60.2	73.5	66.1	65.6

50 代以下では昨年より平均額が増加

■冬のボーナスは昨年と比べて増えたか、減ったか＜全体・職種別＞

（%）

	増えた	減った	変わらない
全体	13.6	16.8	69.6

（%）

順位	職種	増えた
1	運輸業、郵便業	25.4
2	鉱業、採石業、砂利採取業	22.2
3	金融業、保険業	21.2
4	教育、学習支援業	21.0
5	製造業	18.9

（%）

順位	職種	減った
1	漁業	44.4
2	金融業、保険業	23.4
3	製造業	21.6
4	医療、福祉	20.3
5	電気・ガス・熱供給・水道業	19.8

【年末年始休暇について】

質問 12　　今年の年末年始休暇は何をして過ごす予定ですか？（回答者数：7,996 名）※複数回答可

質問 13　　＜「自宅・自宅周辺で過ごす」を選択した方への質問＞
自宅・自宅周辺で過ごす理由はなぜですか？（回答者数：5,984 名）※複数回答可

○年末年始休暇の予定は「自宅・自宅周辺で過ごす」と回答した方が 68.8%となり最も多く、次いで「帰省」となった。

○「自宅・自宅周辺で過ごす」理由として「新型コロナウイルス感染予防で 3 密を避けるため」が 42.7%となり最も多かったが、昨年と比較すると 17.5 ポイント減少した。

■今年の年末年始休暇は何をして過ごす予定か※複数回答可

（%）　（pt）

順位	内容	全体	対前年
1	自宅・自宅周辺で過ごす	68.8	+0.4
2	帰省	14.0	+1.4
3	見通しが立っていない	8.1	▲ 2.6
4	国内旅行（宿泊あり）	7.0	+0.8
5	近場のレジャー（日帰り）	5.9	+0.5

「自宅・自宅周辺で過ごす」と回答した割合は 4 年連続で最も高かった

■自宅・自宅周辺で過ごす理由は※複数回答可

（%）　（pt）

順位	内容	全体	対前年
1	新型コロナウイルス感染予防で3密を避けるため	42.7	▲ 17.5
2	金銭的な余裕がないため	17.1	+4.1
3	仕事の予定があるため	10.8	+1.8
4	年末年始休暇日が例年に比べ少ないため	8.3	▲ 0.1

「新型コロナウイルス感染予防で 3 密を避けるため」と回答した方は昨年から 17.5 ポイント減少

質問 14　　今年の年末年始休暇の予算はいくらですか？（回答者数：7,756 名）
質問 15　　今年の年末年始休暇の予算は昨年と比べて増やしますか？減らしますか？（回答者数：8,635 名）

○年末年始休暇の予算は、4.9 万円と昨年より約 0.2 万円増加した。配偶者や子どもがいる方の予算平均額は全体より高かった。
○予算を「減らす」と回答した方が 13.3%と、「増やす」と回答した方の割合を上回った。

■今年の年末年始休暇の予算はいくらか　＜年代別・都道府県別＞

（%）

内容	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1万円未満	16.8	25.0	17.8	17.5	16.6	14.0	15.8
1～2万円未満	13.5	17.8	18.1	13.4	14.3	10.0	9.9
2～3万円未満	19.9	21.2	23.1	20.8	19.1	19.8	15.9
3～5万円未満	25.6	21.8	22.5	26.3	25.5	27.7	27.1
5～10万円未満	14.0	7.2	11.6	12.2	14.9	16.4	16.5
10万円以上	10.0	6.9	7.0	9.8	9.4	11.9	14.7
（万）							
平均額	4.9	4.0	4.2	4.7	4.7	5.4	6.0

昨年の予算 4.7 万円と比較し約 0.2 万円増加

	配偶者あり	子どもあり
平均額	5.3	5.3

配偶者ありまたは子どもがいる方の予算平均額は全体より高かった

〈上位5位〉　（万）

順位	都道府県	金額
1	香川県	6.7
2	山形県	6.4
3	長崎県	6.4
4	三重県	6.3
5	群馬県	5.9

〈下位5位〉　（万）

順位	都道府県	金額
1	秋田県	3.0
2	徳島県	3.0
3	鳥取県	3.2
4	島根県	3.3
5	新潟県	3.7

都道府県別では香川県が最も高く秋田県が最も低かった

■今年の年末年始休暇の予算は増やすか、減らすか

（%）

内容	全体
増やす	8.6
減らす	13.3
変わらない	78.1

予算を「減らす」と回答した方が「増やす」と回答した方の割合を上回った

＜ニッセイ基礎研究所　チーフエコノミスト　矢嶋（やじま）　康次（やすひで）のコメント＞

冬のボーナスの金額は多くの世代で昨年を上回りました。この理由としては、多くの企業が好業績であったことに加え、急速な物価高の下での生活を支えるという狙いもあると考えられます。一方で、「減った」という回答も一定程度みられる（16.8%）ことから、業種ごと、企業ごとの二極化が進んでいるとも言えるかもしれません。

年末年始休暇の予算に関しては、平均予算額は昨年度から約 2,000 円増加しましたが、回答者数では「減らす」（13.3%）が「増やす」（8.6%）を上回りました。2022 年は、多くの商品・サービスが値上げされたために、昨年と同じものを購入しようとすると、昨年よりも家計の支出がかさんでしまうような状況でした。そのことが、積極的に年末年始休暇の予算を増やすことをためらわせ、節約志向の強いアンケート結果となっているのかもしれません。

もっとも、これまでほとんど物価が上がってこなかった日本は、世界の中ではむしろ例外的でした。物価高を契機として、2023 年が、商品やサービスに適切な価格設定がなされ、それが賃金に反映される好循環が生み出されるような年になることが期待されます。

以　上

2022-2790G，広報部